

事業番号	10 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業			部局	林務部	課・室	鳥獣対策室
				実施期間	S33 ~	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

野生鳥獣による農林業被害は、10年間で約4割減となるなど減少傾向にあるが、近年は減少幅が小さくなっている。農林業被害防止のためには、緩衝帯整備や誘引物の除去を行う「生息環境対策」、侵入防止柵設置等の「防除対策」、加害個体等を対象とした「捕獲対策」を組み合わせた総合的な対策が必要となる。

### 2 事業目的

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①地域が連携して取り組む総合的な野生鳥獣被害対策  
・国庫補助金の内示差による事業費の減額
- ※その他の事業は当初予算のとおり
- ②特定鳥獣保護管理の推進  
当初予算のとおり

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	農林業被害額	千円	741,891		731,552	↗	738,012	↘	715,762	△	過去5年の平均を基準に今後5年間で被害額の-10%を達成するため目標値を設定している。
②	二ホンジカの捕獲数	頭	30,434		32,492	↗	29,306	↘	40,000	△	第二種特定鳥獣管理計画（第5期二ホンジカ管理）において、個体数増加の抑制が見込まれる捕獲数として年間4万頭を目標としている。

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-1②	人と自然が共生する社会の実現											

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額				
R5年度	0	458,051	△ 105,726	△ 105,726	352,325	87,656	△	7.0
R4年度	0	394,605	△ 40,473	△	354,132	75,293	308,907	7.0
R3年度	0	413,475	△ 53,680	△	359,795	84,188	301,329	7.0

事業番号	10 05 01	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検			
事業名	<b>野生鳥獣保護管理事業</b>		部局	林務部	課・室	鳥獣対策室

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算	
1	<b>狩猟対策事業</b>		22,589 千円	19,030 千円	予算現額 28,415 うち今回 補正額 0 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	免許事務費	直接	狩猟者の育成・確保のため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施 狩猟免許試験 10地域で実施			
2	県営射撃場運営事業	直接	射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備 整備箇所 1か所（県営総合射撃場）			
3	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新規取得者に講習を実施 講習会 10回実施			

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算	
2	<b>鳥獣保護管理事業</b>		42,240 千円	35,564 千円	予算現額 38,525 うち今回 補正額 0 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	鳥獣保護管理員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施 鳥獣保護管理員 126人			
2	特定鳥獣保護管理事業	委託	野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、カモシカ生息状況等調査を実施し、生息状況、被害発生状況の把握とともに被害対策の実施状況等の解析を実施 第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル）を策定 実施箇所（カモシカ） 1箇所（県内全域）			

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算	
3	<b>野生鳥獣総合管理対策事業費</b>		282,566 千円	283,638 千円	予算現額 279,385 うち今回 補正額 <b>-100,326</b> 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	・個体数調整報奨金により、ニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する市町村等への支援を実施 ・国庫補助金の内示差による事業費の減額 支援対象 84団体			
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	直接 委託	従来の方法では捕獲が困難となったニホンジカについて、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲の実証を実施 実施箇所 2箇所			
3	持続型捕獲モデル実証事業	委託 補助金	・ドローン等のICTを活用した効率的な捕獲手法を実証し、持続可能な捕獲モデルの確立と捕獲個体のジビエフル活用に向けた取組に対する支援を実施 ・国庫補助金の内示差による事業費の減額 実施箇所 2箇所			

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
4	豚熱対策事業		12,400 千円	15,900 千円	予算現額 6,000 うち今回 補正額 <b>-5,400</b> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	総合的な獣害対策事業	委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生息環境対策（緩衝帯整備）」を主軸として、「捕獲」、「侵入防止対策」、「モニタリングによる見える化」の4つを組み合わせ、地域ぐるみで進めるイノシシ対策を実施</li> <li>・<u>国庫補助金の内示差による事業費の減額</u></li> </ul> 実施箇所 3箇所		